

2023 年度 児童発達支援センターにこここ 事業報告

1. 事業目的・経営方針

地域の子ども達及びその家族が通所し、日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与または集団生活への適応のための訓練を行うことを目的として、スローガンを「来て良かったにこここ」「子ども達の“楽しい”“嬉しい”が詰まったにこここ」「子どもも保護者もスタッフもみんな笑顔で」とした施設づくりを意識し強化を行ってきた。

2. 組織体制

【Ⅰ】利用定員

事業所名	事業名	定員	対象障がい	対象年齢
	児童発達支援	10	<u>すべての障がい</u>	未就学児
	放課後等 デイサービス			学童児
	保育所等訪問支援			未就学～学童児

※保育所等訪問は利用者による申請（1人月1～2回程度）

【Ⅱ】職員構成

職員数名（正規職員6名 非常勤職員4名）2024.3.31

管理者（児童発達支援管理責任者）	1	保育士	1 (2)	児童指導員	1 (1)
看護師	※1	指導員	1	心理士	※1
<u>作業療法士</u>	<u>1</u>				

() 内数は非常勤職員 ※は兼務

3. 営業時間

開所時間 9:00～18:00 月曜日～金曜日 毎月第3土曜日

但し、8/13～8/15をお盆休み、12/30～1/3を年末・年始休み、3/30/31を新年度準備としてサービスを休業とした。

※放課後等デイサービスの親子療育を12月16日（土）に行った。

4. 事業概要

【Ⅰ】児童発達支援（にこここなこま）

定員10名に対して、午前中（9時～11時半）月曜日～金曜日で曜日毎にグループを分け、未就学児及びその家族等に対して基本的生活動作、また集団生活への適応を図り、小集団活動、運動・感覚遊び等を実施した。2023年度も非常勤講師の音楽療法士や言語聴覚士による療育を行った。

(1) 契約者数（2024.3.31）

学年	未満児・年少	年中	年長
契約者総数	7	4	6

医療的ケア児	0	0	
措置児童	0	0	1

計 17 名 (昨年比 - 1)

(2) 年間実績 (延べ人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
41	39	49	37	41	41
10月	11月	12月	1月	2月	3月
44	37	44	34	36	36

計 479 人 (昨年比 + 4)

(3) 主活動・行事関連

- 1 感覚統合
- 2 サーキット
- 3 買い物体験
- 4 クッキング
- 5 製作活動
- 6 言語療法 (奇数月 1 回)、音楽療法 (偶数月、未満児・年少グループ)
- 7 就学時健診の練習 (9 月)
- 8 サポートブックの作成 (1 月～)
- 9 その他、時季に合わせた内容 (水遊び、遠足など、年長児の移行支援)

【Ⅱ】放課後等デイサービス (すまいる)

定員 10 名に対して、学校終了後に送迎を行い、月曜日～金曜日毎にグループを分け、基本的な生活動作、また集団生活への適応を図り、SST(ソーシャルスキルトレーニング)、小集団活動、個別学習等を実施した。また、月の第 3 土曜日を中高生限定の療育日とし、生活スキルアップ(金銭管理、時間管理など)や社会体験を目的とした活動を行った。4 年ぶりに親子療育(カレー作り、運動遊び)を実施した。

(1) 契約者数 (2024.3.31)

	小学生	中学生	高校生
契約者総数	31	8	2
医療的ケア児	1	0	0
重度心身障がい児	1	0	0
措置児童	4	0	0

計 41 名 (昨年比 + 6)

(2) 年間実績 (延べ人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
182	192	204	171	152	167
10月	11月	12月	1月	2月	3月
194	172	194	173	176	156

計 2133 人 昨年比 + 303 人

(3) 主活動・行事関連

- 1 感覚統合
- 2 サーキット
- 3 公共施設の利用（体育館、外食体験、買い物体験など）
- 4 クッキング（いきなり団子、フルーツ大福、サンドイッチ）
- 5 製作活動
- 6 その他、時季に合わせた内容（水遊び、体力テストの練習、磯遊びなど）

【Ⅲ】 保育所等訪問支援事業

月に1回～2回、保護者から申請があった場合に訪問支援員が利用者が通っている保育所等を訪問し、支援先の職員に助言等を行った。

(1) 【契約者数】 69名（保育所等訪問のみ）2024.3.31

(2) 年間実績（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
2	3	7	0	0	4
10月	11月	12月	1月	2月	3月
2	0	1	0	2	4

計 25 件 昨年比-14 件

(3) 主な訪問先

すずかけ保育園、さわらびこども園、中央保育園、津奈木保育園、水俣第一小学校、水俣第二小学校、袋小学校、佐敷小学校、湯浦小学校、水東小学校、津奈木小学校、水俣第二中学校、袋中学校、水俣第一中学校、湯浦中学校

(4) 主な申請内容

- 1 授業や園の様子が心配
- 2 先生方の対応をみてほしい

【Ⅳ】 児童発達支援センター等機能強化事業（水俣・芦北圏域地域療育センター事業）

心身の発達において特別な配慮を要すると思われる児童、またその保護者に対して、相談を通して、発達に応じた適切な対応を検討し行った。

※詳細は別紙記載（資料）

【Ⅴ】 巡回支援専門員整備事業

発達障がい等に関する知識を有する専門員が、保育所等(幼・保・こども園、小・中・高や学童)の子どもやその親が集まる施設・場への巡回支援を実施し、施設等の支援を担当する職員や親に対し、障害の早期発見・早期対応のための心理検査及び助言等の支援を行った。

(1) 年間実績（件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11	11	16	11	7	17
10月	11月	12月	1月	2月	3月

10	19	14	10	11	19
----	----	----	----	----	----

計 156 件 昨年比 -11 件

(2) 主な訪問先

水俣保育園、認定こども園ふたば幼稚園、中央保育園、田浦保育園、湯浦保育園、芦北保育園、計石保育園、吉尾保育園、津奈木保育園、水俣第一小学校、葛渡小学校、久木野小学校、袋小学校、水東小学校、田浦小学校、水俣第一中学校、袋中学校、緑東中学校、きずなの里、もやい館

【VI】 日中一時支援事業所（くるり）

障害者等の（本事業所では障害児に限定）日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を目的とする。

(1) 年間実績（延べ利用者数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
11	11	16	11	7	17
10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	19	14	10	11	19

合計 延べ 156 人

(2) 主な利用の理由

- ・ 障がい特性による学校や学童への行き渋り
- ・ 家庭での留守番が困難

5. 職員処遇

【I】 職員研修

事業所見学（八代圏域児童発達支援センターのぞみ、菊池圏域児童発達支援センターGIFT）や様々な研修（スキルアップ研修、支援者勉強会、就労についての研修、障がいのある人と働くことについての研修など）への参加を積極的に行った。

6. 権利擁護

権利擁護及び苦情解決体制

- 1. 2023 年度の苦情なし。
- 2. 体罰、虐待禁止の説明及びチェックリストの実施
- 3. 職場の処遇改善や意見要望等をセンター長宛てに WEB 上で毎月収集（センター長直行便）

7. 危機管理

【I】 防災訓練

毎月 1 回、防災避難訓練を実施した。

【II】 事故防止

月に 1 度事故防止委員会を開き、ヒヤリハット事案の見直しを行い再発防止の為の改善案の検討を行った。また虐待防止の観点から合わせて虐待防止委員会を開催し、子どもの様子観察も含めてチェックした。

（2023.4.1～2024.3.31）

環境的な要因

26 件

怪我（受診までは至らない） 17 件

怪我（数日間の治療・通院） 0 件

8. 地域交流支援

□ 職員派遣

（センター長：心理士）水俣市乳幼児発達相談事業たんぽぽ、芦北町乳幼児健康相談事業、人吉球磨・山江村・相良村、人吉市、発達相談事業の心理士、水俣市自立支援事業連絡協議会（子ども部会）委員、水俣・芦北地域自立支援協議会委員、芦北町要保護児童対策協議会委員、水俣・芦北圏域障がい者総合支援協議会委員、水俣市子ども子育て会議委員、他研修等の講師等

9. 施設整備

なし

10. その他

後援会組織 ひかりどうえんを支える会

2023 年度は支える会より資金援助はなし